

## 第1088回教育委員会会議録

- 1 日 時 平成30年10月24日(水) 午後3時00分～午後4時58分
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 出席者 東村教育長 吉井委員 西野委員 八田委員 南部委員 原委員  
松田教育振興監 佐々木学校教育幹 吉野企画幹(競技力向上)  
巢守学校振興課長 清川高校教育課長 中森課長(高校学力向上)  
山本課長(小中学力向上) 浦井義務教育課長 西川競技力向上対策課長

### 4 議 題

日程第1 第25号議案 平成31年度福井県立学校入学者募集定員について

日程第2 第26号議案 平成31年度福井県立高等学校入学者選抜実施要項ならびに  
福井県立特別支援学校の幼稚部および高等部の入学者選考実施  
要項の制定について

### 5 審議事項

(1) 開会宣告 午後3時00分

(2) 会議録署名人の指名 西野委員 原委員

(3) 議事要録

教育長 本日の日程第1 第25号議案と日程第2 第26号議案、協議報告事項  
の4と5については、事務執行上、公開が適当でないことから、非公開とす  
る旨発議

———当該議案を非公開と決する———

教育長 福井しあわせ元気国体、福井しあわせ元気大会が無事に終了したことを報  
告する。教育委員の皆様には、国体、障害者スポーツ大会の期間中に各競技  
会場で熱心に応援して下さいましたことに対して感謝申し上げます。

おかげさまで、天皇杯、前回の福井国体では獲得できなかった皇后杯を獲  
得でき、完全優勝を収めることができました。

特に少年種目では、愛媛国体での437.5点の2倍近い850.5点を  
獲得する大躍進を果たすことができました。この少年種目の点数は、和歌山国体

で和歌山県が出した過去最高点数の645点を200点も上回るもので、中学生から強化をしていた選手をはじめ、高校から始めた選手など、選手全員が諦めることなく頑張ったことはもちろん、県民や地域のあたたかい声援が選手を盛り上げ支えてくれたおかげである。

また、全市町の小中学校から約46,000人の児童・生徒が会場での応援に参加してくれた。高校については、部活動の仲間やクラスメートが出場する種目の応援を要請したところ、当初4500人の予定が約6700人の規模になった。こうした子どもたちの大応援が選手たちの大きな力となった。

また、高校生は合唱やブラスバンド、競技補助員などでも十分な活躍をしてくれた。まさしく福井県民一体となって成し遂げた完全優勝だったと思う。

福井国体を最高の結果で終えることができたが、今後は、これを一過性のもとのせず、整備した競技場や選手育成のノウハウを生かして県内選手の競技力向上やスポーツの発展につなげていく必要があると考えている。

## ◎協議・報告事項

### (1) 第73回国民体育大会（福井国体）の結果について

吉井委員 私が激励に行ったラグビー、ウェイトリフティング、レスリングの競技会場での高校生の補助員がとてもきびきび仕事をしていて、とても感心した。

八田委員 2021年までの強化について、計画等はあるのか。

競技力向上対策課長 数多くの選手が福井に来てくれたので、残った選手には少年の指導や部活動の指導に携わってほしい。憧れの選手に指導してもらうことで技術が向上することや勝ち方を教えてもらうなど良い形で繋いでいきたい。

八田委員 2020年のオリンピックに向けて良いタイミングだと思うので、後退せずに良い雰囲気は是非続けて行ってほしい。

### (2) 高校生の就職状況について

教育長 求人倍率3倍という数字はかなり高いのではないか。

高校教育課長 昨年が2.59倍、2年前が2.08倍であった。この2年で3倍を超えたことになる。

吉井委員 県外と県内の内訳はどうなっているのか。

高校教育課長 昨年と同様に、県内は91%から92%で9割を超えている。

南部委員 県内で就職しようという意識は伸びてきているのか。

高校教育課長 県内就職について普段から教員が指導したり、地元の企業から高度な技術

を教えに来てもらったりすることで、生徒の目は県内に向いている。

南部委員 就職先によっては、県外に行かざるを得ない場合もあるのか。

高校教育課長 関西電力の例で言うと、本社は県外にあるが仕事は県内であるというケースもある。

八田委員 248人の未内定者の就職見込みは大丈夫なのか。

高校教育課長 昨年度末も就職できなかった生徒は2名ほどいた。面接が上手くいかないことや体調不良、生活習慣が朝型にならずに辞退したということが原因である。今年度はそのようなことがないように努めていきたい。

### (3) 福井県きぼう応援奨学金の募集について

南部委員 月額18,000円について、これは十分な金額なのか。

高校教育課長 生活スタイルにもよるが、学費に使うなど十分に近い金額だと思われる。部活動で使うスポーツ用品の購入や遠征費に活用している生徒もいる。

西野委員 高校入学後、3年間の実績の報告義務はあるのか。

高校教育課長 県教育委員会の方で把握をしている。過去4年間実施しており、一期生が今春に卒業しているが、卒業後の様子についても話を聞いている。在学生に対しても状況把握は行っている。

西野委員 奨学金の活用方法など、卒業生から新入生に対するメッセージはあるのか。

高校教育課長 卒業生からメッセージを出してもらい、在校生に配布している。

教育長 日程第1、第25号議案を議題

高校教育課長 資料に基づき説明

教育長 第25号議案について、原案に対する異議の有無を確認

———原案どおり可決———

教育長 日程第2、第26号議案を議題

学校振興課長 資料に基づき説明

教育長 第26号議案について、原案に対する異議の有無を確認

—————原案どおり可決—————

(4) 文部科学大臣表彰の推薦について

- ・キャリア教育表彰
- ・優秀教職員表彰

(5) 平成29年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について

教育長            本日の会議の終了を宣言

6 閉会宣言 午後4時58分